

2023年3月19日改訂

川崎市陸上競技協会

2023年度コロナ感染リスク対応の競技会運営ガイドンス

川崎市陸上競技協会は、日本陸連、神奈川陸協の方針を参考にするとともに、川崎市やスポーツ機関の対策などを踏まえて競技会運営を行う。

マスク着脱の自主的判断などコロナ感染対応が変化していますが、コロナ感染の恐れがなくなった訳ではありません。

競技者、チーム関係者（指導者、コーチ、部員等）、競技役員、競技運営関係者は、次の事項を必ず事前に読んでいただき、参加されますようご理解・ご協力をお願いします。

なお、5月8日以降に、この対応に変更が生じることもありうることもご理解願います。

◎競技会開催の前提条件

- 1 競技会に関わる全ての人（競技者、チーム関係者、競技役員、競技運営関係者、家族・保護者）は、次のように健康状態を整えて競技会に臨む。
 - ① 3密（密閉、密集、密接）回避
 - ② 体調管理
 - ③ 手洗い、うがい、手指の消毒、洗顔
 - ④ マスクの持参（必要時に着用）
- 2 川崎市陸協は、①競技会要項に傷害保険の加入を明記する。②競技会に関わる全ての人への感染に対しては責任を負わない。

◎競技者、チーム関係者（指導者、コーチ、部員、マネージャー）、家族・保護者、観客の遵守事項

- 1 「コロナ感染対応入場カード」（市陸協ホームページ掲載）又は中体連・高体連指定シートなどを呈示（提出）。団体で一緒に入場する場合は、代表者が全員の健康状態を確認後、呈示（提出）して入場。個別の場合は、個別に呈示（提出）。
体調管理が不確かな場合は、会場への入場・競技会への出場を認めないことがある。
- 2 屋内で3密の場合は、マスク着用。
- 3 更衣室・シャワー室は使用可。短時間で、3密を避け、会話は控える。
- 4 ゴミはすべて自己責任で持ち帰る。
- 5 フィールド種目の待機中は3密になりがちなので、会話は控える。
- 6 投てき器具や滑り止め（炭酸マグネシウム）は、共用可。
- 7 跳躍競技の助走練習、投てき練習は、競技役員の指示に従う。
- 8 声を出して応援する場合は、マスク着用を推奨する。
- 9 ウォーミングアップは、室内走路も使用可。正面スタンド下は使用不可。
- 10 3密回避のため、付き添い者のウォームアップ場への入場は禁止。
- 11 家族・保護者の競技場施設への入場は可。7番ゲートで「入場・再入場カード」を呈示・チェック後、入場。座席は、正面スタンド。
- 12 熱中症予防の観点から、こまめに水分を補給。
- 13 参加料、アスリートビブスは、正面3番1階中央フロアの大会本部で取り扱う。プログラムは、7番ゲート付近で販売。
- 14 招集は、トラック、跳躍、投てき種目とも、プログラム記載の招集時間に各競技場所に集合。欠席する場合は競技者係に連絡。
特別アスリートビブス、腰ナンバーカードを使用する場合は、競技者係で受け取る。腰ナンバーカードは、原則として800m以上のオープンコースで行うレース。プロ訂正は事前に大会本部へ連絡。

□15 レース後は、会話をしないように注意し、動線に従って戻る。

◎競技役員・競技運営関係者の配慮事項

□1 「コロナ感染対応入場カード」(市陸協ホームページ掲載)又は県陸協指定シートなどを呈示。

体調管理の不確かな場合は、会場への入場、競技運営を認めないことがある。
室内で密になる時、競技者と近接して声を出す場合は、マスクを着用する。

□2 室内の換気を確保。(諸室、更衣室、シャワー室、室内走路など)

□3 共用物の使用後は、手洗い・手指の消毒・洗顔を実行。

□4 競技日程は、可能な限り招集時刻を分散化。

□5 各競技場所では、密になりやすいので、会話を控えるように注意。

競技者係は、欠場する場合に報告をもらう。特別ナンバーカード、腰ナンバーカードをセットしておく。

□6 スタート地点は、密になりやすいので、会話を控えるように注意。

□7 レース後は、会話を控え、手洗い・うがい・洗顔することを注意。

□8 必要に応じて手指を消毒。

□9 更衣室・シャワー室は、同じ時間帯の少人数使用は可。会話は控える。

□10 発熱者が出た場合は、隔離室を確保。

□11 付き添い者のウォームアップ場への入場は禁止。

□12 食事は、間隔を空け、会話は控える。

□13 トラック種目の配慮事項

① 給水関係(3000m以上)の競技役員・補助員は、競技開始前に手指を消毒。給水にスポンジは使用不可。

③ 腰ナンバーカードは、原則として800m以上のオープンコースで行うレース。

□14 フィールド種目の配慮事項

① 待機場所は密になりやすいので、会話は控えるよう注意。

② 投てき器具や滑り止め(炭酸マグネシウム)は、共用可。

③ 跳躍競技の助走練習、投てき練習は、競技役員が競技者を呼び出す方法で実施。

④ 用器具を共用する場合、使用後、手洗い・手指の消毒と必要に応じて機器の消毒。

⑤ 競技に使用した用器具類は、競技終了後、必要に応じて消毒。

□15 競技会終了後は、使用したすべての箇所・競技用機材を必要に応じて消毒

□16 観客への配慮事項

家族・保護者の競技場施設への入場は可。7番ゲートで「入場・再入場カード」を呈示・チェック後、入場。座席は、正面スタンド。

□17 競技役員委嘱の配慮事項

体調管理上、少しでも不安が生じた場合は、無理して参加しない。

□18 熱中症予防の観点から、こまめに水分を補給。